

きたよしだばいせき 北吉田馬場遺跡

調査の概要	事業名	松山外環状道路空港線・県道余戸北吉田線埋蔵文化財発掘調査
	工事主体者	国土交通省四国地方整備局・愛媛県中予地方局
	調査主体者	公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター
	遺跡名	北吉田馬場遺跡
	場所	松山市北吉田
	調査面積	900 m ²
	調査期間	令和6年4月4日～令和6年5月31日



北吉田馬場遺跡の位置と周辺の戦争関連遺跡



②石碑 (松山海軍航空隊跡)



③石碑 (松山海軍航空隊跡)



④石碑 (忠魂碑)



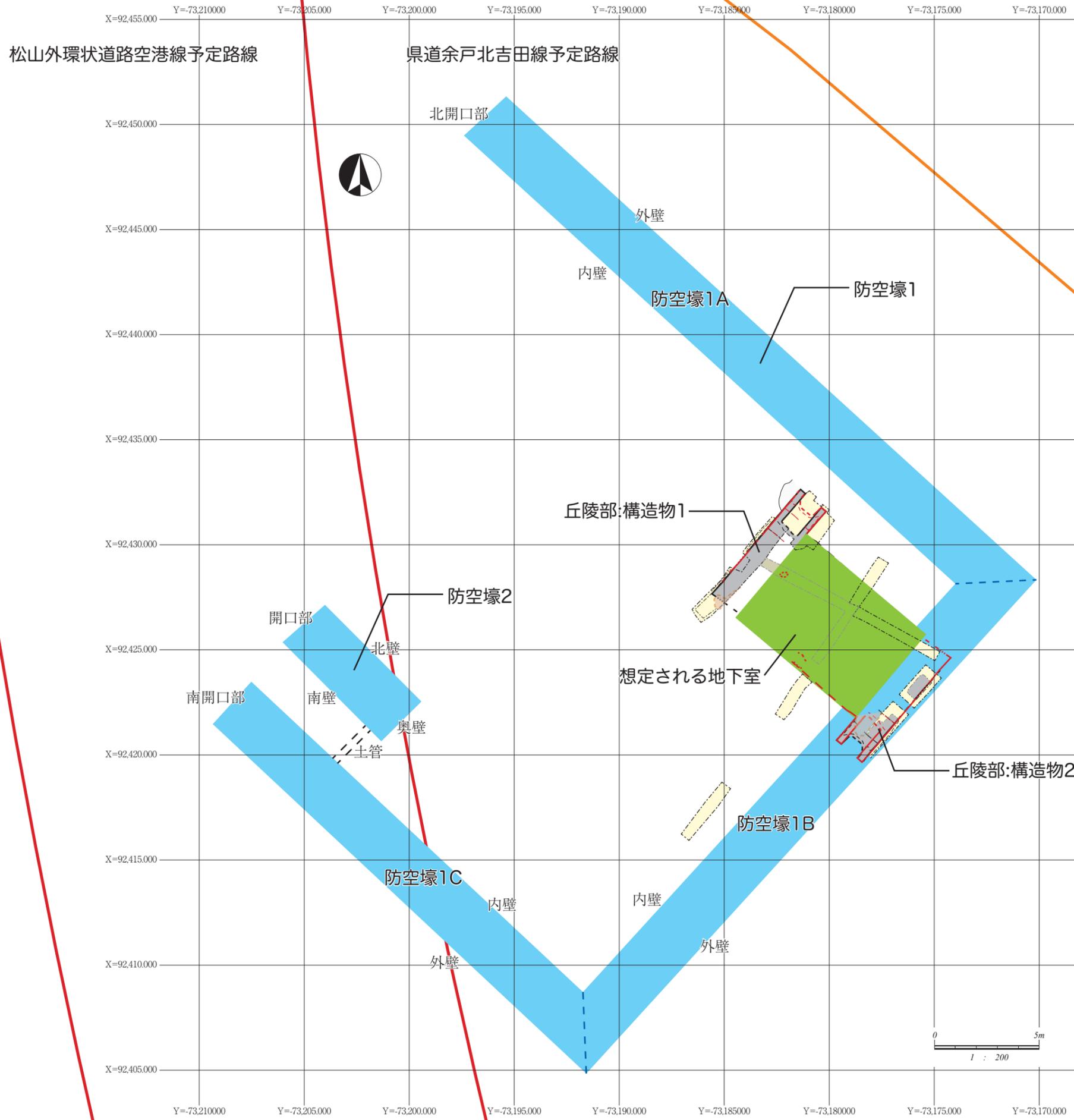
⑤掩体壕 (松山市指定有形文化財:平成30年5月18日指定)



戦時中、松山市北吉田町には松山海軍航空基地が置かれ、周辺にもそれに関連する様々な施設が整備されました。

今回、北吉田馬場遺跡では、防空壕2基とその防空壕上の丘陵部にあるコンクリート製構造物2基の発掘調査を実施しました。コンクリート製構造物は地下に降りる構造で、地下室への通路と考えられます。これらの遺構は、昭和19年4月以降に整備され、翌年5月の空襲で基地が被害を受けた際に、防空壕は退避壕として使用されたようです。

これまで愛媛県内において、戦争関連遺跡の発掘調査の実施例は少なく、まだまだ不明なことが多いですが、貴重なデータを得ることができました。



遺構平面図

各遺構のデータ

	長さ	幅	高さ	コンクリートの厚さ
防空壕1A	約34m20cm	約2m50cm	約2m50cm	約20~30cm
防空壕1B	約31m70cm	約2m50cm	約2m50cm	
防空壕1C	約24m30cm	約2m50cm	約2m50cm	約12~36cm
防空壕2	約6m50cm	約2m50cm	約2m50cm	
丘陵部 構造物1	約6m50cm	約1m60cm	約1m80cm以上	約30cm 天井部に径2cmの鉄筋
丘陵部 構造物2	約6m50cm	約1m60cm	約3m10cm	約30cm 天井部に径2cmの鉄筋 壁部に径約1cmの鉄筋
地下室	約7m40cm (推定)	約5m20cm (推定)	不明 (推定面積 約38.48㎡)	約50cm(出入口部分) 約55cm(天井部分(推定))



防空壕1B 内部状況



防空壕1B 外壁コンクリート堆積



防空壕1C 外壁コンクリートの厚み



防空壕2 内部状況



防空壕2 南壁に埋め込まれた土管



丘陵部 調査前状況



丘陵部 構造物2



丘陵部 構造物2内部状況(左:地下室出入口)